



第 50 号

発行所

〒 157-8560

東京都世田谷区成城 1-13-1

東京都市大学附属中学校・高等学校内

電話 03-3415-0104

発行責任者 阿部 俊 夫

編集責任者 清 水 茂

同窓会活動の曲がり角



本同窓会
は一九七六
年十月に設
立されまし
た。以来三
十四年、基

本線を「母校の発展を願ひ、同窓生の交流親睦を図る」としておりますが、過去三十二年間の母校との関係は「体育祭に同窓会賞を贈呈する」「柏苑祭に参加する」の二点のみと言っても過言ではない状況でした。今では体育祭そのもの

同窓会会長 阿部 俊夫

十四期(昭和四十二年三月卒)

が形態を変え球技大会となっており、同窓会賞を贈呈しにくい形態となっております。

二年前に校舎が新築され「むさこう」の面影は薄らいでおり、同窓会として活動のマンネリ化からの脱却を模索してまいりました。一昨年の柏苑祭の中で校長から「中学三年生の職業体験のカリキュラムに協力してほしい」依頼があり、「何を・・・。どのように・・・。」戸惑いがありました。昨年八月の企業見学終了までは前号の「柏

に掲載させていただきました。一年間の活動を終え、今年一月十六日に各クラスの代表者による発表会が開催され同窓会の一年間の協力が終了しました。学校側からも「これほど成果が上がるとは・・・」との好評な評価を頂くことが出来ました。何よりもこの行事に協力いただいた同窓会員が「楽しかった」「自分の子供では照れくさくなってしまうが後輩と考えると、何でもやってあげたくなる」「来年も是非やりたい」等々、前向きな反省のみでした。この声に押されて来期の準備が始まっています。学校側、同窓会の反省として「協力いただける企業が少なかった」「同窓会の協力が少なかった」の二点が挙げられています。一年間の実績で何をやるかは理解できません。社会的な有名人は必要ありません。同窓生一人一人が先輩として後輩に自分の歩いてきた道、悩んできた事、楽しかった事、学生時代から社会人生活を通じて感じていることを発言いただければ結構です。母校と同窓会の発展のために協力いただける方を募集しております。是非ご協力ください。同窓会の独自問題として経費不足があります。

東京都市大学附属高等学校 同窓会ホームページは、

<http://tcu-kasiwa.org>

へと新しいホームページアドレスに移行しました。

今までは、「柏」での案内をしていましたが、これからはHPからの案内・連絡となりますので会員登録をお願いいたします。昨年から登録された方には、メルマガ創刊号を受信され柏苑祭、懇親会、キャリアスタディへの協力依頼、レーシングチームへのお誘いなどの案内をさせていただきました。これからは、「柏」自体もホームページに掲載していこうとしていますので、会員登録をお忘れ無く。新しい企画もホームページに随時掲載していきます。HPでの会員同士のコミュニケーションなどにもご活用ください。

HP 担当：安藤友二 e-mail: yujiando999@hotmail.com

理事会報告



事務局長
安藤 友二
(二十五期)

今年度の同窓会理事会からのお知らせです。

本年度の同窓会の年間スケジュールが以下のように決まりました。
 第一回 二〇〇九年十二月九日
 第二回 二〇一〇年二月三日
 第三回 二〇一〇年四月七日
 第四回 二〇一〇年六月二日
 第五回 二〇一〇年一〇月六日

八月は、キャリアスタディの企業研修があるので理事会は、開催いたしません。

★昨年は、キャリアスタディに全力を注いだ一年でした。

今年度からは、キャリアスタ小委員会を立ち上げ、梅田小委員長のもと毎月、学校でキャリアスタの担当の先生方と打合せを行っております。昨年参加された会員の方にも好評で、今年も継続される方もおられます。

協力企業を是非とも増やしていきたいので、今年出来なくても将来なら出来るかもという方又は、

夢先生の講師なら出来るという方でも、まずはサポーター登録をお願い致します。

○連絡先は、梅田小委員長：
umedaz10@nifty.comまでお願い致します。

企業研修の説明会を三月に開催予定しています。皆様の参加をお待ちしています。

○昨年協力して頂いた企業一覧
 アマノ株式会社・株式会社ハイパーサイクルシステムズ・株式会社オフィスサンサーラ・株式会社ロッテ・国土交通省・システムケイソー株式会社・日本経済新聞社・古田士公認会計士・税理士事務所・中外製薬株式会社・株式会社テクノアソシエ・株式会社NIPPON・株式会社アストロノーツ・株式会社日東電機エンジニアリング・関東電設株式会社・三光ライト工業株式会社・フジノン株式会社・凸版印刷株式会社

協力して頂いた企業及び同窓会会員の皆様方、誠に有難う御座いました。

★同窓会賞授与：二〇〇九年一〇月三十一日と十一月一日に学校での第五十一回柏苑祭において展示内容と生徒の訪問者への対応などを理事会選考委員で考慮した結果、中学二年生の展示が選ばれました。トロフィー(カップ)と盾と賞状が阿部会長より授与されました。

柏苑祭では、自動車部の本物の自動車の展示、鉄道写真部の鉄道模型等の展示、吹奏楽部の演奏など様々な展示や活動を観ることが出来ました。また、退任された国語の石垣先生もおみえになり、今回、柏の原稿を書いて頂く運びとなりました。

★同窓会規約が校名変更に伴い改訂されました。同窓会ホームページ <http://cu-kashiwa.org>に掲載を予定していますのでご確認ください。また、規約改訂が今後も必要とな為、規約改定小委員会を立ち上げて作業を進めていきます。

★武蔵クラシック開催については、同窓会ホームページで開催案内を掲載致しますので、ホームページへの登録が未だの方は、登録をお願い致します。

連絡は、武蔵クラシック担当の二十四期生宮原氏へ下記の電話、又は、メールでお願い致します。
 電話：〇三―三七〇三―一五四一
 e-mail:miyahara0086@kandeco.jp

★二〇〇九年十一月十三日(金曜日)にむさこう同窓会の総会と懇親会が、渋谷マークシティ・エ

活動の中心は本紙「柏」の発行です。同窓会員の皆様と繋がっていくために機関紙は絶対に欠かせない道具です。但し、郵送に頼っている現状では経費削減は活動の停滞を意味します。皆様にお願いたします。同窓会のホームページにアクセスし、「機関紙をホームページで読むので郵送不要」の登録をお願いいたします。更にホームページを活用して「意見交換」「協力依頼」「尋ね人」「仕事紹介」etc. 今までの機関紙での役員会からのお知らせとは別に、本当に会員で作る同窓会へ衣替えしていく必要性を実感しています。会員総数は一万三千人を超えています。一期生の皆様は七十五歳を迎えられております。同窓生全員の経験の蓄積は無限です。どんなことでも先輩・後輩の関係があるとスムーズに進みます。遅くなりましたがホームページを活用した同窓会に発展していく方針で活動が始まりました。皆様のご協力をお願いいたします。



柏

セル東急ホテル 6F フォレストルームで開催されました。総会につきましては、決算報告と今年度予算を掲載していますので、そちらをご査証願います。

懇親会では、久野新一氏(十三期生)ひきいるバンドによりオルデイズなど懐かしい曲が演奏されました。

★ホームページについて

現在同窓会ホームページが、<http://tcu-kasiwa.org>にあります

が、同窓会での活動を活性化するために同窓会会員にメールマガジンを発行できるようにしました。創刊号が二〇〇九年一〇月に発行されました。ブログ書き込みやブログ書き込み通知機能もありますので同窓会会員同士の連絡・通達や活動案内などにもご利用ください。皆様の登録をお待ちしています。

★今後の理事会の開催場所について
今までは自由ヶ丘の武蔵工業会館で理事会を開催してまいりましたが、同窓会の経費削減の一環として、理事会の開催場所を公共施設の利用を含めて検討することになりました。

今年度は、予算の見直し、規約改訂など色々の変化の多い年ですが、今後とも同窓会を宜しくお願いたします。

言葉とその意味〈その3〉

14 期生 織田 純

イエス・キリストの新約聖書ヨハネの福音書の冒頭には「はじめに言葉があった、言葉は神とともにあった、言葉は神であった」と記されている。はたしてこのことは現代では通用するのか？

現代は、人を言葉ですべてとらえることができると信じている。しかし、21世紀の今でも、人間のことは簡単に言葉では捉えることは難しい。

それは「生きる不確実性」に気づくことである。とくに宗教世界、コンテンポラリーアートなどの世界において言葉の呪縛からどう自由になるかが本質に迫る鍵となるのではないかと。

<ぬすつともさんぶのり>

女は妊娠すると、性欲がおとろえていないのにもかかわらず、男の方で遠慮するから「産婦」というものは常に欲求不満になってしまう。そこで、忍び込んできた「盗人」にも、思わず「乗り」かかってしまうのである。

<とところかわればしなかわる>

若い女の首筋の「ところ」に息をそーっとふきかけると「いやーん」などと言って「しな」をつくる。しかし、もっと敏感なところに吹きかけると「いやーん」と言うのは同じでも「しな」が変わるのだ。

<つみをにくんでひとをにくまず>

そろそろ鼻についてきた女房を、押し入ってきた強盗が殺してしまったような場合、罪は罪であるから強盗が刑務所に収監されるのは当然だが、時々差し入れにいつてやろうか、というような気分。

<せにはらはかえられぬ>

臓器移植が流行して「胃をやるから肝臓をくれないか」というようなやりとりが新橋の居酒屋で交わされているのが現状だが「背中をやるから腹をくれ」という交換は禁止されている。どっちを向いてもこっちを向いているやつと、どっちを向いても向こうをむいてるやつに、分かれてしまうから厚生省が禁止条項にしている。

宗教の理念を築いているのは言葉である。芸術の理念ははたして何なのであろうか？特に現代アートの理念は言葉で理解可能か？言葉という「意味」に縛られているのに心をひとつに定める「三昧」はあるのか？生きながら「意味」に縛られない完全な「自由」はあるのか？「言葉からの自由」を追求していくとそこには「宗教と芸術」がぼんやりと浮かんでくるようだ。

東京都市大学附属中学校・高等学校 同窓会 理事名簿
(任期二〇〇九年十月一日～二〇一〇年九月三十日)
会 長 十四期生 阿部 俊夫
副 会 長(柏)編集委員長兼任) 十四期生 清水 茂
事務局次長(柏)編集・HP担当) 二十五期生 安藤 友二
事務局次長キャリアアスタティ小委員会委員長 十六期生 梅田 博夫
事務局次長(武蔵クラシック実行委員長) 二十四期生 宮原 茂

事務局次長(総会・懇親会・企画委員会委員長) 二十七期生 徳山 長生
事務局次長(事務局担当) 二十六期生 小泉 武司
会 計 十三期生 中沢 宏
理 事 十二期生 今井 章久
理 事 七期生 岩本 征義
理 事 八期生 柴 孝昭
理 事 九期生 鈴木 威一
理 事 十六期生 岡田 光夫

理 事 十六期生 小林 英世
理 事 十七期生 仲宗根 茂
理 事(キャリアアスタティ小委員会委員) 十九期生 塩満 守
理 事 二十期生 松原 信敏
理 事 二十一期生 長谷部伸一
理 事 二十二期生 神田 清人
理 事 二十三期生 矢崎 克実
理 事 二十七年生 坂田 真一
理 事 二十四期生 白井 康雄

第34回 総会報告

総会日時：2009(平成21)年11月13日(金) 19:00～ 会場：渋谷エクセルホテル東急

2008年度(2008年10月1日～2009年9月30日)活動報告

- '08.11.2・3 第50回「柏苑祭」
- '08.11.14 第33回総会 於：渋谷エクセルホテル東急
第1号議案～第4号議案 全て原案通り承認されました。
懇親会 於：渋谷エクセルホテル東急
- '08.12.8 第1回理事会 ①2008年度理事会年間スケジュール ②企業見学の協力(学校からの協力要請) ③授業料支払い困難者への補助金の回収協力 ④メールマガジン発行について ⑤「柏」発行について
- '09.1.17 新年会 於：武蔵工業会館内 柏クラブ
- '09.2.4 第2回理事会 ①企業見学について ②「柏」と同窓会規約について ③懇親会での演奏について
- '09.3.1 高校卒業式 神田会長出席
- '09.3.7 企業訪問・研修の件で学校で打ち合わせ 神田会長・清水副会長出席
- '09.4.1 第3回理事会 ①キャリア・スタディについて(井上教頭、相澤先生(企業研修担当の先生)、伊藤先生(国語)出席) I. 企業研修について II. 「夢先生」について 左記2点について学校側から資料に基づき説明 ②SNSについて ③役員名簿について
- '09.4.25 キャリア・スタディ 生徒の意識調査 ①各クラス1名合計6名の生徒達との面談 ②相澤先生、草間先生との打ち合わせ ③PTA役員との意見交換 参加理事：安藤、徳山、坂田、神田の4名
- '09.5.12 臨時理事会 「企業研修」と「夢先生」について NPO法人・教育応援団を交えて討議
- '09.5.23 キャリア・スタディ「夢先生」 於：東京都市大学付属中学・高等学校 中学3年生の各教室 参加講師：鈴木7期生、石倉14期生、阿部14期生、神田21期生、吉木23期生、安藤25期生、坂田27期生 「夢先生」授業後、井上教頭、相澤先生、上記講師7名と梅田16期生、矢崎22期生、小泉22期生、で企業研修について打ち合わせ
- '09.6.3 第4回理事会 ①企業研修先企業について ②来年のキャリア・スタディに向けての同窓会の体制 ③今年の懇親会において矢崎理事の承認の件
- '09.7.29 第5回理事会 ①企業研修について内訳等の報告 ②キャリア・スタディ専門委員会の選任 ③同窓会賞の選定 ④鈴木理事の承認
- '09.8 企業研修実施
- '09.9.9 第6回理事会 ①企業研修レビュー ②柏原稿(10月発送) ③同窓会賞について
- '09.10.7 第7回理事会 ①柏苑祭について ②総会・懇親会について

2008年度(2008年10月1日～2009年9月30日)決算報告

一般会計報告(収入の部)

科目	予算	決算	内 訳
入 会 金	750,000	840,000	56期生279名、その他1名
年 会 費	1,500,000	1,263,000	56期生279名、その他142名
引 継 金	3,158,157	3,158,157	前期より
雑 収 入	1,000	1,003,700	預金利息他
合 計	5,409,157	6,264,857	

一般会計報告(支出の部)

科目	予算	決算	内 訳
会 議 費	120,000	181,941	理事会8回(臨時含)
交 通 費	100,000	78,000	
総 会 費	200,000	164,954	
「柏」制作費	30,000	30,180	
通 信 費	1,000,000	848,750	「柏」47号(@80×8,455)「柏」48号(@80×1,877)他



左2人目が久野氏

(5) 平成 22 年 2 月発行 東京都市大学(旧武蔵工業大学)附属中学校・高等学校同窓会報

印刷費	700,000	662,158	〔柏〕47号(9,000部¥309,070)〔柏〕48号(9,000部¥207,640)他
発送アルバイト費	200,000	147,000	〔柏〕47、48号発送アルバイト
事務費	40,000	59,593	
事務局活動費	200,000	12,000	
同窓会賞費	80,000	0	
小委員会費	25,000	8,821	
名簿整備費	50,000	30,000	名簿管理アルバイト
柏苑祭費	30,000	30,600	
HP制作費	500,000	462,840	
会員交流補助費	40,000	0	
予備費	100,000	664,761	キャリア・スタディ費用他
繰越金	1,994,157	2,883,259	
合計	5,409,157	6,264,857	



名簿管理アルバイト

キャリア・スタディ費用他

第 33 回総会決算報告

科目	収入額	支出額	内訳	繰越金内訳
会費	120,000		@5,000×24	定期預金口座 642,924 円
用品		1,785		貯蓄預金口座 131,992 円
景品		25,268		普通預金口座 1550,418 円
懇親会費		257,901		郵便振替口座 8,248 円
総会援助金	164,954			現金 549,737 円
合計	284,954	284,954		合計 2,883,259 円

上記の通り 2008 年度会計報告をいたします。

2009 年 11 月 13 日

会計 上島 正義 ㊟
今井 章久 ㊟



会計監査報告

上記、会計内容を監査の結果、正しく表示、記載されていることを認めます。

2009 年 11 月 16 日

会計監査 白井 康雄 ㊟



2009 年度(2009 年 10 月 1 日～2010 年 9 月 30 日)予算案

収入の部

科目	予算	内訳
入会金	750,000	57 期生 250 名
年会費	1,500,000	57 期生 250 名その他 250 名
引継金	2,883,259	前期より
キャリア・スタディ	1,000,000	
雑収入	1,000	預金利息
合計	6,134,259	

印刷費	700,000	〔柏〕49号9,000部¥300,000 〔柏〕50号9,000部¥200,000 封筒他
発送アルバイト費	160,000	〔柏〕発送アルバイト
事務費	40,000	
事務局活動費	50,000	
同窓会賞費	30,000	
小委員会費	50,000	
名簿整備費	30,000	名簿管理アルバイト
柏苑祭費	30,000	
HP制作費	200,000	
会員交流補助費	40,000	武蔵クラシック補助
キャリア・スタディ	1,000,000	
予備費	100,000	
繰越金	2,194,259	
合計	6,134,259	

支出の部

科目	予算	内訳
会議費	180,000	理事会 8 回
交通費	100,000	理事会
総会費	200,000	総会援助金
〔柏〕制作費	30,000	編集委員会 2 回
通信費	1,000,000	〔柏〕49号(@80×8,500)・ 50号(@80×3,200)他

読書運動を国民的な運動に!

石垣 義昭(元国語科教員)



「読書離れ」が進んでいると言われています。パソコンで

と入力してみると、具体的な数値を上げてそれを示すホームページが出てきました。「大学生の一日の読書時間平均三〇分(全国生活協同組合連合会一九九二年調査)とか、「一ヶ月に一冊も読まない児童・生徒の比率、小学生一五%(八人に一人)、中学生五五・三%(二人に一人)、高校生六九・八%(三人に二人)」「全国図書館協議会一九九七年調査」などというぐあいです。

また、「出版状況」と入力してみると「本が売れない。一九九六年にピークを迎えた出版物の総売上は、二〇〇八年にはその四分の三程度にまで落ち込んだ。」などという文章をすぐ見つけることが出来ました。

わたしが行く本屋さんもしくはば嘆いています。時刻表や、旅行のガイドブック、映画や演劇の案内なども、今はパソコンや携帯ですぐ調べられるから、それで用が足りてしまうというわけで、時刻表などの本は売れ行きが減っているそうです。

出版業界にとっても、町の本屋さんにとってもなかなか深刻な問題なのだということが改めて分かりました。が、今回私に読書離れを心配して、是非読書の大切さを書いてもらえないだろうかと原稿を依頼してきた「柏」の編集者の思いはもう少し別のところにあります。つまり、本屋さんが嘆いている実用書の売れ行きの問題ではなく、いわゆる心の友ともなる文芸書が読まれなくなっていることを指しているのです。

しかし、この文芸書を含む読書離れ減少は、日進月歩する文明の結果であって、当然といえば当然のことでもあるのです。テレビの

普及とその画質の向上、薄型化、多様化が進んでいます。今は3Dといつて映像が立体的に見えるテレビに関心が集まっているといえます。さらに音響機器も負けず劣らず目覚ましい速さで、音質を高め、小型化し、人々の関心はさらにそれらが重なり合う、より便利で新しい機器、i podとかi p a tとか、もう私にはどうなっているのかもどう操作するのも分からないような機器へと移りつつあるようです。そうした機器が身近になることで、読書に頼らなくてもさまざまな楽しみを日常的に享受できるようになって来ているわけです。ですから読書離れの潮流はそうした文明の進歩の結果であり、これからの傾向は強まると考えるのが自然の流れと思うわけです。

そこがこの「柏」の編集者が感じた危機感もあるのだと理解しました。その危機感私が日ごろ感じているものと全く重なるのではないかと思います。そこで、国語教師として生徒と一緒に本を読みながら感じてきたことや日頃感じている読書のことを書いてみようと思ったのです。

ムサコ(今は校名が変わりましたが)の卒業生で、いまや世界的にも高く評価されている映画監督の周防正行さん(作品に「Syall we ダンス?」や「それでもボクはやってない」などがある)がいます。周防さんはPTAの文化委員会に講演を頼まれて三度来校していますが、その最初の講演のときに「中学時代に打ち込んでいた野球ピッチャーだったで肩を痛めたことで、医者からいわゆるドクターストップをかけられてしまった。大好きだった野球が出来なくなつた周防さんは本当にがっかりして灰色の高校時代を送つた」と語り、「そのとき失意の高校生活をひたすら本を読んで苦しい日々を耐えた」と話していました。そして彼は「その時の読書が私の大きな力になった」とも述べています。しかし、その昔、彼は大学受験で浪人を余儀なくされており、「ムサコ」は受験指導が十分でないから」と苦言を呈された記憶があります。高校時代の三年間、彼の国語を担当した私としては内心忸怩たる辛い言葉でした。が、受験指導によつては人間の素養は養い得ない、豊かな逞しい内面を育てることは出来ない、多くの卒業生を見てきて今でもそう

思っています。芥川賞を受賞した、吉目木晴彦氏さん、岸田國士戯曲賞を受賞した大橋泰彦さんたちだけではありません。家庭を持ちまた社会人としても立派に貢献し生活を立てている皆さん方を思うのです。

少年野球の世界を描きベストセラ―になった「バッテリー」の著者のあさのあつこさんは本との出会いが自分の人生を変えたと言っています。そういう人はあなたの方身近にも沢山いるのではありませんか。本は心を育てると同時に心の友にもなってくれるのです。

小森陽一さん(東大教授・九条の会事務局長)という文学研究者がいます。彼は特に幼児が絵本を見たり、母親などが童話などの読み聞かせをすることの大切さを繰り返し述べています。本はいつも同じ姿(絵でも活字でも)で、そこにあり、一つの世界やドラマを子どもに体験させてくれます。子どもは同じ本を何度も読んで読んでとせがみます。そのお話しやドラマを楽しみただけでなく、その安定した世界に身を置く事によって心の安心を得るのだと言っています。そのお話しの世界に身を置く安心感が子どもの心を育てる

のだというのです。人間の心にとってこの指摘はとても重要な意味を持っていると思います。大人の場合にも当てはまるものです。晩年を迎えて、独り暮らしを余儀なくされながら、自分の愛読書とともに心豊かに過ごす人も少なくないのです。

もう一つ本を読むことの大切さを言うならば、文学はそれを読むことによってその人の心の世界を広げると同時に自分の中の人物との対話を開くということだと思います。私は授業の時によく感想を書いてもらいましたが、「この小説のだけれだれさんは私のおばあさんのようでした」とか、「この主人公はまるで私のような人です」という感想が出てきます。つまりこの場合、小説の中の人物を通して、自分や自分の祖母と対話をしているわけです。小説を読めば読むほどいろいろな人物との会話を深めることになるのです。それは知らず知らずのうちにいる人々に心を開く下地を作ってもいるのです。

携帯やパソコンのメールなどは一見、人と人をつないでいるように見えて、実はそうではない。このことが次第に明らかになってきていますが、読書はそれとは逆

に一見部屋に籠って自分ひとりの時間を過ごしているように見えながら、人間を見る深い目と心をつなぐ素地を養っているという逆説的な力を持っている事も忘れてはいけない事と思います。日々の生活の中で便利さに目を奪われて読書離れを進行させる事は、知らず知らずのうち人間としての豊かな感性や想像力を失っていることに気付かなければなりません。読書離れは自然の流れに任せればそのまま進んでいくでしょう。だから、やはり意識的に読書をする機会や条件を創っていくことが

必要になるのだといえます。母親や父親による幼児への読み聞かせの運動や、学校での朝の読書運動や、図書館の充実などなどを通して、読書運動は意識的に進めていくことが大切なのだと言えるでしょう。私は週一回のテレビ番組「週刊ブックレビュー」を楽しみにしています。

「読書運動」がさまざまな取り組みを通して「国民的な運動」に広がっていくことで、人々の暮らしと幸せにつながるより良い未来が開かれてくるのではないかと私は思っています。

柏苑祭に「同窓会賞」設置



第51回柏苑祭から同窓会賞(第1回)を設けました。卒業した先輩として、また社会人としてのあらゆる視点から検討審査の上、優秀な企画、努力研究された部門を対象として選ばれます。

今回の第1回受賞は「中2 展示」の農業体験に決まりました。日本における今後の農業への前向きな視点及び生徒の接客態度に評価が集まりました。おめでとうございます。





50の手習い

昭和50年卒業(22期)
矢崎 克実

みなさん、お元気ですか？ 卒業して、早いもので30年以上が過ぎてしまいました。人生半ばも通過した50歳の誕生日に、レースを始めようと3年前から日産自動車のマーチだけのレースに参加しています。

小さいマーチのレースなら入門？ 簡単？と自分勝手に解釈して、レース車輛の製作を開始し、国内A級ライセンスを修得し、参加準備に6ヶ月を費やし。いざマーチ・カップレーシング・スクールに参加してみると、ナント！！プロドライバーより早い人が参加者30人の中に10人以上居るではありませんか？ちなみに私は、トップタイムより10秒も遅れたタイムでした。

何と場違いのところに居る自分に呆然としてしまいました。

しかし、掛けた「お金」と家族への「メンツ」があり、辞めるわけにもいかず、何食わぬ顔で、第1戦に参加、前日の公式練習中に、5～4速へのシフトチェンジを2速に入れてしまいエンジンがオーバーレブ(規定の回転数を超える)して。エンジンのバルブがピストンに接触し、圧力が逃げてしまい。リタイア。

何と幸先が悪い事！！ その後も参加台数が45台以上と人気があるので、決勝レースが30台の筑波サーキットでは予選落ち。45台のもて

ぎでは、予選でクラッシュ(衝突)する車輛がリタイアするので、なんとか最後尾からスタートできました。そんな2年間の結果は、

2008年 成績

- 第1戦 富士スピードウェイ リタイア
- 第2戦 ツインリンクもてぎ
決勝レース 35位(45台)
- 第3戦 筑波サーキット
コンソレーションレース 9位(10台)
- 第4戦 ツインリンクもてぎ
決勝レース 42位(45台)
- 第5戦 筑波サーキット
コンソレーションレース 10位(13台)

2009年 成績

- 第1戦 富士スピードウェイ
コンソレーションレース 7位(9台)
- 第2戦 ツインリンクもてぎ
決勝レース 38位(45台)
- 第3戦 筑波サーキット
コンソレーションレース 10位(10台)
- 第4戦 袖ヶ浦フォレストレースウェイ 予選落ち
- 第5戦 筑波サーキット
コンソレーションレース 8位(11台)

と、散々たる結果ですが、サーキットを全快で走る快感は、溜りません。

理解ある家族と楽しい仲間にも恵まれて最高の時間を過しています。

2010年は、ドライバーから監督に昇進します。息子二人と次男の友人二人がドライバーとして参戦します。4人とも同窓会の会員です。応援よろしくお願いいたします。

サーキットを走ってみたい方は、ご連絡ください。練習走行でサーキットを貸切の際は、ライセンスが無くても走行可能な場合があります。

編集後記

「同窓会活動の曲り角」と題して阿部会長には、同窓会が今後マンネリから脱却するべく、学校側と互いに協力体制のもとに発展させてゆく、決意を語っていただきました。財政の問題についても非常に厳しい時代を迎えておりますが、それらを踏まえて今後はホームページを活用することで更なる「攻め」の発展を促し、且つ皆様方にもご協力をお願いする次第です。特に「会費納入」には特段のご配慮をいただきたいとお願いたします。

以前より編集人として感じておりました、長い文章を読むことである「読書」の重要性の認識が希薄になってきたことを実感しております。という事で今回で三回目となりますが、国語科の石垣先生より原稿をいただきました。視覚メディア全盛の時代に「警鐘を鳴らす」ことに「アドバイス」をいただきました。大いに参考にさせていただきます。

昨年十一月、第三十四回総会・懇親会では企画担当理事の活躍により、初めて音楽イベントを第十三期(昭和四十一年)卒でおられる久野新一氏のご協力とご好意により、本格生バンド&ポーカーライブを公演。バンド名はネルソン・バンド。一員には同窓の元パープルシャドウズのメンバーも。団塊の世代が洋楽に没頭した六十年代の「聞けば懐かしい」オルティズの十五曲連続。出席者も乗り乗りでした。さすがのプロのボーカルの可愛らしい女性の「歌唱力」に圧倒されました。本当にありがとうございました。キャリア・スタディの第一回も無事、学校・理事・会員相互の協力体制で成功を収め今後さらに軌道に乗ると思われまます。同窓生のご支援を今後も是非、期待するところです。

(十四期生 清水茂)